Ｇ発21－011

　　　2021年7月31日

各ライオンズクラブ会長　様

ライオンズクラブ国際協会３３３－Ｃ地区

地区ガバナー　Ｌ藤原　宏髙

地区献血・献眼推進・糖尿病委員長

Ｌ窪田　雄二

日本網膜色素変性症協会（JRPS）に対する支援のお願い

拝啓

盛夏の候、皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素より視力関係プログラムへのご協力に感謝申し上げます。

特にＪＲＰＳに対しては、その活動をご理解戴いた多くのクラブからのご支援、深く感謝申し上げます。

さて、標記に関しては恒例の奉仕活動として、本年度は第１回キャビネット会議の委員長提出議案として上程され承認されました。

つきましては、各クラブの自主的なご判断により、クラブまたは個人のアクティビティとして更なるご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

ＪＲＰＳは眼の難病である、網膜色素変性症の治療法開発の研究促進を主な目的

とし、併せて患者の方々のＱＯＬ（Quality of Life、患者自身がより尊厳を保つことが出来る生活）向上と、この病気に関する啓蒙活動などを図るべく、1983年に地区ライオンズの支援を得て設立されたものであります。

ライオンズクラブからの支援金につきましては、治療法研究開発促進の為の学術論文募集資金に充当されます。入賞論文3本計400万円のうち、１本100万円はライオンズ賞として研究者に授与されます。

尚、ご支援戴きました金額につきましては、金銭アクティビティとして「クラブ活動報告」に計上しご報告戴きます様、ご支援のお願いを申し上げます。

敬具

同文写送付先：ゾーン・チェアパーソン